文学部在学生の出身校

内田　和子

今年度、文学部に関するアンケート調査のため、平成 14～17 年度に入学した文学部生 775 名の出身校を調査した。その結果、出身校の位置する都道府県別に在校生の多い県を示すと、第１位は岡山県(246 名、31.7%) である。続いて、兵庫県(77 名、9.9%)、香川県(55 名、7.1%)、広島県 (54 名、7.0%)、愛媛県 (51 名、6.6%)、島根県 (39 名、5.0%)、山口県 (28 名、3.6%)、鳥取県 (23 名、3.0%)、徳島県 (19 名、2.5%)、高知県 (11 名、1.4%) となる。中国四国と兵庫県で在校生の約 78%が占められていて、岡山大学文学部の「集客圏」を物語っている。このうち、兵庫県は神戸市と加古川以西の地区が多く、広島県では広島市と尾道以東の地区が多い。

岡山大学文学部の「集客圏」は、岡山大学の強力なライバルである広島大学と神戸大学の「集客圏」とかなり重複していると思われる。この２大学に対して、岡山大学がいかに特色を打ち出して、他との差別化をはかるかという従来からの課題が改めて認識される。

この課題は、言うは易く、実行は困難なものであるが、緊急に取り組まなくてはいけないものである。その１つとして、世界に羽ばたく研究や異文化との共生をはかる研究も必要ではあるが、地域に根ざした教育と研究にはこれまで以上に熱心に取り組む必要があると感じている。

ちなみに、在校生が 10 名以上の出身高校ランキングは次の通りである。

岡山操山 30 名、岡山朝日 19 名、岡山芳泉 19 名、岡山大安寺 18 名、津山 14 名、倉敷青陵 13 名、高松 13 名、倉敷南 11 名、岡山一宮 10 名、玉島 10 名、松江北 10、坂出 10 名、丸亀 10 名。

アンケートの内容についてはまた機会を改めて述べたいが、就職や資格取得についての要望が高いことや高校生に対してのわかりやすい情報提供が不足していることの指摘があった。就職については、卒業生の皆様のご尽力もいただいて、就職率を高めていきたいと考えている。就職活動の際等には、よろしくご高配のほどお願い申し上げる次第である。また、わかりやすい情報提供の一環として、地理学教室では北川先生を中心にホームページの更新作業を行っている。

「スタッフが少なく、何かと行き届かないところも多いとは存じますが、今後とも地理学教室に変わらぬご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。」

教室動静（2005年1月～2006年1月）

●大学院修了生・学部卒業生と進路

2005年3月に，大学院生3名が修了し，学部生2名が卒業いたしました。

【修了】

・三浦　宏（みうら　ひろし）
　岡山大学大学院研究生

・黒田　賢一（くろだ　けんいち）

・田　明霞（でん　めいか）

【卒業】

・岩本　愛子（いわもと　あいこ）
　松江市役所

・夏　茂林（か　もりん）
　岡山大学大学院文化科学研究科博士課程前期

●新たな構成メンバー

2005年4月に大学院生が1名，10月に1名加わり，大学院生（博士課程前期）は4名となりました。また，2005年10月に8名の2回生が教室の構成メンバーとして加わり，学部生は30名を数え，2～4回生合同の授業の際には地理学実験室に入りきらない事態となりました。

●2004年度地理学談話会

2004年度の地理学談話会は平成17年3月19日（土）13時30分より，岡山大学五十周年記念館会議室にて行いました。

当日は梅花女子大学の福本紘先生に「おとぎ話に見る森のイメージの東西比較―地理的に考えると？―」と題してご講演いただき，その後，学部生による「高梁市の現状と課題」についての報告がございました。

談話会終了後，18時より懇親会を行い，現役学部生も参加してにぎやかなひとときを過ごしました。

●地理学野外実習

2005年度は倉敷市を対象地域として調査をおこないました。談話会当日に報告書お配りいたします。また，夏期休暇中には福岡県へ巡検にまいりました。

●久しぶりの快挙

2005年度の文学部ソフトボール大会にて，新2回生の活躍により優勝いたしました。

教室構成メンバー

氏名（よみ・出身地・出身校）

●教授

内田　和子（うちだ　かずこ）

　文法経３学部と岡山県の県立高校間で、今年度から地理歴史と公民分野における高大連携協議会が設けられました。地理は幸いにも、地域地理科学会があったおかげで、高校との連携がある程度行われていましたが、今後はより密接な連携が求められることになりました。これを機会に、高校の先生方に地理学教室のアピールを積極的に行いたいと思います。

●助教授

北川　博史（きたがわ　ひろふみ）

　なかなか実現には至りませんが，今年度は暇をみて海洋資源調査に出かけようと思っております。まずは宇野港で，アジ，サバあたりの調査を考えております。

●博士課程前期　Ｍ２

李　建輝（り　けんき・中国河南省洛陽市・岡山大学文学部）

　大学院の２年間もそろそろ終わりを迎えます。この２年間、一度も国に帰ったことのない私はむこうのことがちょっと気になっています。そういえば、日本に来てから、実家でお正月を過ごしたのは一回もなかったです。中国のお正月は旧暦の正月ですから。

　中国では今年のお正月に長年禁止された爆竹をならす習慣が復活したらしいです。庶民の「伝統を守る」こえは大きいからといいます。正直にいうと、このような「伝統」は廃止したほうがいいと思います。「騒音」、「ゴミ」、「大気汚染」、「けが者」などは１つもいいものはありません。中国ではさまざまな「伝統」がたくさんあります。しかし、多くの国民はどれが「良い伝統」「現代社会にふさわしい伝統」なのか、よくわからないようです。「守るべき伝統」を守り、「良くない伝統」を捨て、他の国のいいところを虚心に勉強したほうが正しいです。これは私が１つのできごとから感じたものです。

●博士課程前期　Ｍ１

夏　茂林（か　もりん・中国内蒙古自治区・岡山大学文学部）

橋本　将伸（はしもと　まさのぶ・愛媛・岡山大学法学部）

　我が国の「港」が、いかに国民の生活と深く結びつき、生活を支えているのかを認識し、港湾 の整備の必要性について研究しています。－神戸港を中心として－

渡邊　幸子（わたなべ　さちこ・山梨県富士吉田市・中京女子大学人文学部）

　昨年から岡山に来ました。正直なところ私が大学院へ進学するとは思ってもいませんでした。現在、河川地理学の分野を勉強し「霞堤」について研究していますが、そのきっかけは以前通っていた大学のある先生の授業で、「霞堤」という所々切れている堤防があることを知り、堤防が切れているなんて危ない！！と強い衝撃を受けたのがきっかけで、現在に至っています。世の中どんなきっかけがあるかわかりませんね！

●大学院研究生

水上　崇（みずかみ　たかし・神奈川県葉山町・早稲田大学教育学部）

　１月についに三十路を迎えました。あっという間の 20 代でした。

　この 30 歳になるということは、旅行や調査の

面でも大きな負担増を強いられることになります。JR 四国と JR 九州は、それぞれの会社内の路線を週末に限り、一定距離以上乗ると運賃・特急料金が４割引になるサービスを行っていますが、これが実は29 歳までなのです。ただ、有効期間自体は 30 歳になった年度までは有効なので、この春にでも安く行って来ようと思っています。

木村　久（きむら ひさし・岡山県早島町・倉敷天城高）
　地理が好きという理由で教室の先生方のお世話になっています。ありがとうございます。
　禁酒の誓いを立てました。しばらくは守ることができました。しかし、家内の母が体調を崩して同居することになって以来、飲み友だちができたのを理由にして、二人で毎晩飲んでいます。

高野　宏（たかの ひろし・東広島市・甲南大）
　今年の冬は下宿の暖房が壊れてしまい、数十年ぶりという大寒波を身をもって体験することになってしまいました（まだ直っていません）。家のなかでも息が白くなり、家中の電池で動くものが止まる事態には本当に辟易しました。とはいえ、こうした寒さもあともう少し。季節は、まさに「春、近からずとも遠からじ」といった感じです。気ばかりが急いて、暖かくなったらいち早く窓辺に風鈴を下げようと考えている今日この頃です。

●４回生
尾山　裕子（おやま　ひろこ・岡山市西大寺・岡山城東高）
　私を漢字一文字で表すと・・・？「頑」です。（1）頑丈：滅多に病気にならない健康体です。でも、卒論終了直後はさすがのわたしも風邪をひきました。でも、よく寝てよく食べたらすぐ治りました。（2）頑張る：今まで勉強だけでなく、バイト、サークルとさまざまなことに力を尽くしました。何事にも妥協を許しません。たまに無理をしすぎて痛い目をみます。（3）頑固：自分で決めたことは滅多なことでは曲げません。神経質とよく言われます。

小西　章太（こにし　しょうた・八千代市）
　23 歳男性住所不定無職。

沢根　眞理子（さわね　まりこ・倉敷市・名古屋市・旭丘高）
　昔から年齢相応に見えないようで、実年齢より＋10 は当たり前でしたが、そろそろ年齢に応じた外見に近づきつつあるようです。中でも大変衝撃だったのは、海外留学中に欧米人から悉くお世辞年齢で 27 前後と言われたことでしょうか。実年齢を告げたときの彼らの驚いた顔から、それを本気で言っていたのだと私には解りましたとも。しかしながら、欧米では大人に見られることを好むようですし、年齢より上に見られるということは落ち着いている、浮ついていない、という良い意味で捉えようと思います。しかしながら、子持ちと見られるのはどう対処すればよいものやら……。化粧がまずいのか、それとも口調がまずいのか、袋小路に入りかけですが、気楽にいこうと思います。

梶木　友紀子（かじき　ゆきこ・加古川市・加古川西高）
　節分で豆まきをしました。友達の家にまめをまきちらし、太巻きの丸かじりをしました。季節を感じる行事をするのは、なんか良い感じでした。さて、卒論も終わったので、卒業旅行に行ってきます。ヨーロッパなのでスリには気を付けます。その後就職します。今は、小学生より気ままな大学生活なので、４月からは心機一転です。

近藤　麻衣子（こんどう　まいこ・枚方市・寝屋川高）
　卒論を無事に提出することができ、一安心し

ています。タコのようにフニャフニャです。
　地元大阪での就職が決まり、いざ離れるとなると岡山への愛着心が募る日々です。
　学生生活残りの一ヶ月は、大分の祖父のところへ行ったり（ついでに温泉）、友達の結婚式に出席したり、楽しくのんびりと過ごしたいと思います。あと、車の運転の練習も･･･。

崔　京浩（さい　きょうこう・中国吉林省延吉市）

信清　由希子（のぶきよ　ゆきこ・高梁市・高梁高）
　卒業論文を提出した反動からか、色々動いている最近の自分です。スノーボードに行って、ギターを触って、ライブに行ってと楽しく過ごせました。

松本　充康（まつもと　みつやす・神戸市・六甲アイランド高）
　現在、私は卒業論文の再提出に向け、精進している毎日であります。この文章が皆様の目に届く頃には、悠々と引越しの準備をしていることを祈っております。以上、卒論発表が終わった直後の、奇妙なテンションでお送りしました。

村山　友美子（むらやま　ゆみこ・鳥取市・鳥取西高）
　地理学教室での３年間は本当に楽しい出来事でいっぱいでした。卒業後は地元の銀行に就職が決まりました。４月から銀行員としてがんばります。

山下　千佳（やました　ちか・観音寺市・観音寺第一高）
　卒論ではいろんな人に迷惑をかけましたが、ようやく提出できました。終わったらあれこれしようと考えていたのに、いざ終わってみるとなにもする気がおきません。このままではだめだと思ったので、とりあえず卒業旅行だけはしっかり行きます。

●３回生
塚本　僚平（つかもと　りょうへい・香川県琴平町・丸亀高）
　１月～２月上旬は野外実習の報告書作成に追われる日々でした。計画的に事を運ばなくては後々、大変な目に遭うのだと痛感した出来事でした。来年度は卒業論文を作成しなくてはいけませんが、今回のような事のないように計画的に行動したいと思います。

丸山　哲史（まるやま　てつし・尾道市）

今西　恒平（いまにし　こうへい・神戸市・神戸高）
　新幹線で実家と大学を往復するようになって早３年。自由席の取り方のコツを上手に使って座席を確保し、30分の乗車時間を有意義に過ごしている今日この頃です。最近は苦手だった活字に克服しようと、短い乗車時間を利用して読書をするように心掛けています。今年度は様々な人との出逢いがありました。最終学年となる来年度は、更なる人との出逢いを期待しつつ、さらに自分を磨いていきたいと思っています。

大江　昌友子（おおえ　まゆこ・香川県宇多津町・丸亀高）
　こんにちは。私は最近ｉＰｏｄを買いました。部屋にコンポとかもなく、パソコンかポータブルのＣＤプレーヤーでしか音楽が聴けませんでした。そのＣＤプレーヤーもとうとう壊れてしまったので、ｉＰｏｄを買うことを決意しました。これから就活も忙しくなると思うので、高速バスや電車での移動のときぐらい好きな音楽にどっぷり漬かろうと思います☆

岡田　純佳（おかだ　よしか・福山市・神辺旭高）
　長い長いと思っていた大学生活も、残りあと

1 年となりました。今年の春休みは就職活動に追われることになりそうです。忙しくて旅行もほとんどしていないので、いつもこの話になるのですが、夏休みにカナダへ行きました。9 月なのにもう肌寒く、少し山のほうへ行くとコートが必要な気候で、北の国に来たのだと実感しました。どこへ行っても思ったのは、日本人が多いこと。でも現地のツアーでアメリカ人観光客と仲良くなったり、とてもいい思い出ができました。

川道　弘太（かわみち　こうた・長崎市・長崎北高）

最近少しではありますが、就職活動をしています。先日は初めて面接に行きました。バリバリの社会人の方にお話を伺い、また僕からも自由に意見させていただいて、想像していたよりも楽しく有意義な時間を過ごし、就職活動が案外楽しいことに気づきました。合格しているといいな。

志智　佳祐（しち　けいすけ・三木市・小野高）

地理学教室では珍しい（？）アンチ電車・バス派の志智です。地理学研究室の方は電車・バス派の人が多く、自動車派の人が少なくて寂しいです。北川先生と二人で地理学自動車党を盛り上げて行きたいと思います。この間、岡山ブルーラインを車で走っていると、いたちのようなきつねのようなものが道路に死んでおり、「うわーっ、かわいそう」と思いつつも、よーく見てみるとその正体はなんと大量の「いなり寿司」でした・・・そんなものを道路に落とさないで下さい。

松岡　和弘（まつおか　かずひろ・呉市・修道高）

地理学教室に所属して 2 年が経ちました。すっかりこの部屋の雰囲気や人々にも慣れました。地理学演習では、かつては恥ずかしいとか、馬鹿にされるのではないかと思い、引っ込み思案だったのが、今では 1 回につき 1 つは質問をしようと心がけることができるまでになりました。

今年 1 年、地理学教室で室長を務めさせていただきました。去年に比べて遥かに仕事量が増えましたが、積極的に動くようになったことを考えると、自分自身を成長させることができたと思っております。

矢野　加奈（やの　かな・高知市・土佐高）

1 年生で中国語、2 年生でイタリア語、三年生でフランス語。大学に入ってから 3 カ国語履修しました。残念ながら、どれも中途半端です。でも中学高校とずっと英語に苦手意識があった自分が、こんなに外国語を学ぶようになるなんて思ってもみなかったし、外国語を学ぶ楽しさが分かってよかったです。

最近は一応就職活動中で悶々とすることが多いので、すごく海外逃亡したい気分です。留学もしてみたいけど、とりあえずは卒業旅行で海外に行くのが目標です（行ったことがないので）。旅行先で街の人の日常会話を盗み聞きするのが楽しみです。

吉井　由美子（よしい　ゆみこ・倉敷市・玉島高）

私は地理学履修コース 3 年の吉井由美子と申します。月日がたつのは早いもので、岡山大学に入学して 3 年が経とうとしております。この 3 年間大学の勉強をしたり、サークルをしたり、アルバイトをしたりといろいろやってきました。そのどれもが私にとって大変勉強になることばかりで、貴重な経験を積む事ができたと思っております。これから就職試験や卒業研究などまだまだやるべきことが山積みですが、なんとかこなせるようマイペースで頑張っていきたいなと思っている今日この頃です。

吉村　理恵（よしむら　りえ・徳島県羽ノ浦町・富岡西高）

大阪、京都、東京、新潟、福岡。去年もなん

だかんだでいろんな所に行きました。どの旅も相変わらずの節約旅行です。中でも、青春１８切符をフル活用した福岡旅行は満足のゆくものでした。福岡から岡山まで十時間の普通列車の旅。特に計画も立てず、乗り換えの駅ではゆっくり休憩、おしゃべりしつつ深夜に岡山到着。いい思い出になりました。今年はぜひとも海を越えて憧れのヨーロッパに行ってみたいです。

和田　優美（わだ　ゆみ・島根県・松江北高）

●２回生

青木　努（あおき　つとむ・益田市・益田高）

残りの大学生活も地理学科で充実したものにしていきたいです。

伊藤　裕実（いとう　ひろみ・松江市・松江南高）

冬休みに帰省した際に、ふと思いつき、雪の降る中松江城の周りを散歩しました。割に城が好きということもあるのですが、雪と城の静かな雰囲気が相まって美しく、「こんなに松江城ってきれいだったんだなぁ。」と、しみじみ感じました。外に出て初めて気付く地元のよさもあるのかもしれない、と感じた出来事でした。

櫛橋　紀子（くしはし　のりこ・各務原市・鶯谷高）

１月に地元で成人式に出席してきました。高校で市外に出たので、久しぶりに会う人ばかりで懐かしかったです。今では中学校の友達とは数人しか行き来がありませんが、たまには皆で集まるのもイイなぁと思いました。同じクラスだった人には、既に働いている人や、今年の春に就職する人が結構いました。就職で岐阜を出る人も多いようで、地元に帰っても友達があまり残っていないと思うとちょっと寂しいような気がします。

佐々木　優太（ささき　ゆうた・赤磐市・瀬戸高）

生まれてから２０年程たちました。毎年、過去の自分を振り返るたびに、後悔に似た恥ずかしい思いを抱いてしまいますが、２０年後にはそのようなことが少なくなるように、今後、日々の行動に気をつけていきたいと思います。

豊倉　ちさと（とよくら　ちさと・指宿市・指宿高）

私の地元の指宿市は，一応温泉の町です。結構，一般家庭にも温泉が引かれていたりします。海岸には天然の砂蒸し温泉があります。ことしの冬は成人式があったんですが，市からの記念品は砂蒸しの入浴券でした。この春地元に帰ったら，是非友達と砂蒸しに行こうと思っています。

平岡　由佳梨（ひらおか　ゆかり・高知県土佐山田町）

矢口　俊治（やぐち　としはる・広島市）

山下　理恵（やました　りえ・岡山市・岡山朝日高）

ＥＳＳ（English Speaking society）に入っています。英語でスピーチをしています。今までに書いたものは「Find their road to the straight life」「ENJOY DRINKING」「DESTROY YOUR STEREOTYPE」です。順に、暴走行為をさせるな、イッキ飲みをさせるな、タバコを吸ってもいいじゃないか、という内容です。たぶんまじめなサークルですが、遊ぶときは力の限り遊びます。もうすぐ節分なので先輩に豆投げてきます。

2004年度修士・卒業論文一覧

●修士論文

高野　宏

　大田植の存立基盤に関する地理学的研究

黒田　賢一

　岡山市の支所機能について－藤田支所を事例に－

田　明霞

　卸売業の立地と業種の特性及び変容－岡山市卸売業を事例として－

●卒業論文

岩本　愛子

　都市の公園緑化による周辺地域の変容－岡山市西川緑道公園を事例として－

夏　茂林

　中国における日系自動車メーカーの存立構造－広州本田を事例として－

福岡巡検－2005年度「地理学野外実習」

室長　松岡　和弘

　去年の8月29日から31日まで、私達地理学教室のメンバーは福岡県へ2泊3日の日程で巡検に行きました。毎年の事ながら現地集合・現地解散でしたが、ほとんどの人が「ムーンライト九州」という、「青春18きっぷ」が使える時期にのみ運行される夜行列車を使いました。

　「ムーンライト九州」組はまず下関で降り、関門トンネルを徒歩で渡って九州入りしました。

その後門司港駅に移動し、「ムーンライト九州」を使わずに移動した人たちとここで合流し、門司港レトロ地区を散策しました。

　旧門司税関の建物の正面にある国際友好記念図書館前では、たまたま別の団体のガイドを頼まれていた

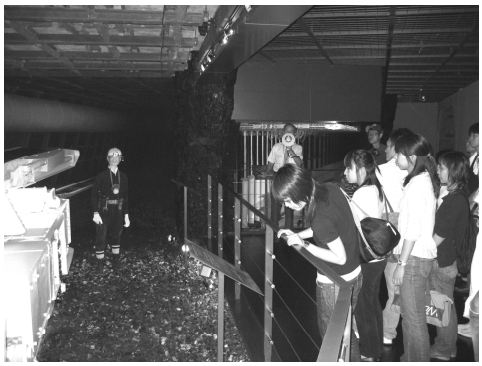
ボランティアの観光ガイドさんが「(その)団体の到着が遅れているから」ということで、到着するまで私達に旧門司税関と国際友好記念館の

建物と、レンガの「イギリス積み」「フランス積み」について説明してくれました。

門司港を後にした私達は、次に八幡にある八幡製鉄所の旧溶鉱炉、小倉（リバーウォーク、小倉城など）を見学した後、ボタ山や炭鉱住宅を見るために飯塚を訪れました。ボタ山は飯塚に炭鉱があった時代、石炭を掘り出す際に出る土や、不良品の石炭（ボタ）をうず高く積んだのが特徴です。また炭鉱住宅は炭鉱労働者が住むための社宅のようなもので、ボタ山の近くに

同じ形をした平屋建ての家が数件並んでいました。少し前の地形図を見ると、住宅が何十件と並んでいたことを物語っていますが、そのほとんどは取り壊されていました。これらの「近代化遺産」がなくなっていくことは悲しいことです。そしてその後福岡市に向かい、夕食に博多名物の「もつ鍋」を食べてその日の行程は終了しました。

翌30日は、朝から西鉄の特急を使って大牟田へ行き、大牟田市石炭産業科学館を訪れました。



そこでは、石炭採掘の仕組みや歴史、炭鉱で働いておられた労働者の生活やじん肺に関する問題を、展示やビデオなどで学びました。

次に柳川を訪れて名物の川下りを体験し、昼食をとりました。柳川といえば、「柳川鍋」が有名で、ドジョウが名物かと思われがちですが、実はドジョウだけではなく、ウナギも名物だったことに驚きました。

柳川を後にした私達は、そのまま福岡に戻り、野球観戦をしたグループと、途中の太宰府に寄り道をしたグループの二手に分かれました。「太

宰府寄り道」組は、大宰府天満宮へ向かい、参拝やお守りを買った後に、参道に軒を連ねる各店舗の「梅が枝餅」を食べ比べるなどしました。福岡に戻ると、今度は博多名物とんこつラーメンを食べに行きました。この日は福岡の味に舌鼓を打った1日となりました。

最終日は、今回の巡検が3年生の調査を兼ねたものだったので、一日自由行動となり、各自で移動することとなりました。3 年生は主に聞き取りに行き（私もそうでした）、その他の人はボタ山の見学、博物館見学や2日間で見学しきれなかったところを見てまわったと聞いております。

巡検2日前になって、まだ現地への手配ができておらず、一時はどうなるかと思いましたが、多少の日程の変更があったものの、概ね予定通りに日程をこなすことができ、巡検に対する不平不満もないところを見ると、今回の巡検は成功したんだなと思います。

地理学教室からのご連絡

○地理学教室ではホームページを開設しております。最近のトピックスや研究会のご案内などを行っております。ホームページアドレスは http://www.okayama-u.ac.jp/user/le/geog/01geo.html です。

○地理学談話会は当日ご参加頂きました卒業生の皆様方の参加費を元に運営しております。談話会存続のためにも，なにとぞ，談話会へのご参加をお願い申し上げます。

○毎年，談話会のご案内を卒業生の皆様へお送りしておりますが，宛先不明の方も少なくありません。同級生もしくは先輩・後輩のお知り合いの方でこの度のお知らせが未着の方がいらっしゃいましたら，是非とも地理学教室までご連絡先をお知らせ頂きますようお伝え頂ければ幸いです。